

# ひと息に

塩見明子

三人に見つめられをる梅雨鴉  
ビルを出づれば梅雨の月ビルへ入る  
肩組みて反対の手に捕虫網  
夏ゆふべ人並びゐて静かなる  
ご近所の皆に励まさるる胡瓜  
夕涼や松は水面へ届かざる  
白き花ばかり咲かせて夏館  
青蔦や竹箒横たはりをる  
ひと息に跨ぎてゐたり蟻の道  
夏料理十年分の話して  
たこ焼の匂ひの広場夕焼雲  
白靴と中折れ帽の間に人